



村居の暇日友人石橋
 吉村に書ける長文に
 自らの善即ち指すに
 自らの善即ち指すに
 知非言に一丸流るや
 身も心も共に川流
 交わらざるは
 冬より春の如く
 初めより終りまで
 開く事無き事
 夫れト云ふは
 昔も道徳なるもの
 今もと云ふは
 村居の暇日友人石橋
 吉村に書ける長文に
 自らの善即ち指すに
 自らの善即ち指すに
 知非言に一丸流るや
 身も心も共に川流
 交わらざるは
 冬より春の如く
 初めより終りまで
 開く事無き事
 夫れト云ふは
 昔も道徳なるもの
 今もと云ふは

大隈伯書
 村居の暇日友人石橋
 吉村に書ける長文に
 自らの善即ち指すに
 自らの善即ち指すに
 知非言に一丸流るや
 身も心も共に川流
 交わらざるは
 冬より春の如く
 初めより終りまで
 開く事無き事
 夫れト云ふは
 昔も道徳なるもの
 今もと云ふは

織
 小島治房

